



吉美小だより

綾部市立吉美小学校
令和6年1月9日号

「人を大切にする」子ども・教職員のいる学校

<学校教育目標>

自立と貢献 ～夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成～

<教育スローガン>

「笑顔・元気・夢いっぱい そして 助け合い」

本年もよろしくお願ひいたします

始めに、1月1日に発生しました「令和6年能登半島地震」におきまして、多数の尊い命が犠牲になったことに対し深く哀悼の意を表します。また、この地震で被災されましたすべての方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の安全の確保と1日も早い復興を心よりお祈りいたします。同時に、この地震に関わり、支援物資を運ばれる予定であった海上保安庁の航空機と日本航空機が衝突した事故でお亡くなりになった方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、今年の冬は「暖冬」という予報通り、この冬休み期間中も比較的暖かな日が続いていました。しかし、3学期は積雪の日もあるかと思ひます。引き続き、子どもたちが安全に通学できますよう、安全確保・安全確認等をお世話になりますがよろしくお願ひします。

今年は辰（竜）年です。辰年にちなんだ言葉・ことわざの中に「竜頭蛇尾（りゅうとうだび）」という言葉があります。これは、始まりは力強いが終わりに力が衰える様子を表した言葉です。（頭は竜のように立派なのに尾は蛇のように細い）子どもたちも私たち大人も目標を立てることがあります。始めは一生懸命で力強いのですが、徐々に…最後は何を目標にしたかさえ忘れてしまうことも…

新年を迎え、子どもたちには決めただけの目標に終わらないよう、また、努力し続けることができるよう、「**はっきりとした目標、目的**」も持たせたいと思っています。そして、蛇尾にならないよう指導・支援をしていきたいと思ひます。「**はっきりとした目標、目的をもつ**」・・・この言葉は、ドジャース入りが決まった大谷翔平選手が高校時代に書いた「目標達成シート」の中の一つでもあります。よく聞く言葉ではありますが、意外と目標は具体的ではないことが多いものです。間もなく届く予定の大谷選手からのプレゼント（グローブ）と共に大切にしていきたい言葉です。

校長 塩尻 竹弘
吉美小学校職員一同



始業式で子どもたちに伝えたこと

- ① 「人を大切にする」
 - ・人を大切にされていると感じた時、エネルギーが湧いたり、心が安定したり、人にやさしくできたりするものです。吉美小学校を「人を大切にする」子ども・先生たちのいる学校にしていましょ。
- ② 「はっきりとした目標を持つ」
 - ・何を目標にしたか忘れることがないように、はっきりとした具体的な目標を立てて努力しましょ。
- ③ 「一人で悩まず、相談しましょ」
 - ・困った時は、誰でも構いません。相談しましょ。先生たちは必ず受け止めます。



平和をスローガンだけで終わらせない。 不可能を可能にした中東和平プロジェクト

左は、綾部の魅力満載の本「あやべ大好き BOOK」です。ご存知でしょうか。その中にこんなことが書かれています。始業式で子どもたちに話したことにもつながる1ページです。少し長くなりますが紹介します。

京都・綾部市は戦後、昭和25(1950)年に日本で初めて「世界連邦都市宣言」を行ったところ。平和を宣言、看板を掲げる都市は多いのですが、単なるスローガンに終わらせるのではなく、綾部市は「中東和平プロジェクト」を平成15年から主導しています。これはイスラエルとパレスチナ双方から紛争で肉親や知人を亡くした子どもたちを日本に招いて、一緒に過ごすことで憎しみの連鎖を断ち切ろうという試み

です。「話は素晴らしいですね。でも実現は無理です!」と誰もがいい、外務省もはじめは消極的な態度だったなか綾部市はけっしてあきらめず、実現。当時の小泉純一郎首相を大感激させ、後には麻生太郎首相もこのことを国連演説で紹介しています。このプロジェクトは、その後も世界連邦宣言自治体全国協議会の補助事業として、岡山市や徳島市、金沢市などへと引き継がれ、2010年に再び綾部で実施するなど、これまでに10回実施されています。不可能と誰もが思ったことを、あきらめないで道を探る、まずやれることから始める、そして実現させる。こんな素晴らしい風土が、あやべには存在しています。

